

授業のタイトル (科目名)		授業の種類		授業担当者
幼児と環境		演習 (講義・演習・実習)		副島 里美 (単独)
授業の回数	時間数 (単位数)	配当学年・時期	教員の免許状取得のための 必修科目	
8回	1	1②		
科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目 (幼二種免)			
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項 ・環境			
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>子どもを取り囲む現在の環境を理解し、子どもの成長発達の過程に応じた個々の環境についてより一層の考察を深める。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の発達と環境の関係性を理解する</li> <li>・幼児期を取り巻く現代環境の問題点や課題点を整理する</li> </ul> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標) ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを取り巻く社会環境を理解する。</li> <li>・子どもの心身の発達と環境のかかわりを理解する。</li> <li>・一人ひとりに応じた遊び環境の構成を計画、考察することができる。</li> </ul>				
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>第1回：幼児を取り巻く環境の諸側面と幼児の発達における重要性について  第2回：幼児と環境との関わり方における専門的概念について  第3回：幼児を取り巻く環境の現代的な課題について  第4回：乳幼児期の認知的発達の特徴について  第5回：幼児期の思考・科学的概念の発達 (1) 乳幼児の数量・図形との関わり  第6回：幼児期の思考・科学的概念の発達 (2) 乳幼児の生物・自然との関わり  第7回：幼児期の標識・文字等の環境に対する興味・関心と関わり方について  第8回：幼児期の生活に関係の深い情報・施設とそれらとの関わり方について</p>				
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び基準]	
大沢 裕『コンパクト 保育内容シリーズ 環境』(一藝社) 高山静子『学びを支える保育環境作り』(小学館)			(試験やレポートの評価基準など) 授業の振り返り(小テスト)40%、最終課題(テストあるいはレポート)30%、提出物20%、授業態度10%	

(注) 科目ごとに作成すること。